

学報

2019 年 11 月 Vol. 747



リトアニア共和国大統領来日特別記念講演及び
名誉博士号授与式を開催

岐阜大学生チームが「愛知県大学対抗ハッカソン “Hack Aichi”」で最優秀賞の愛知県知事賞を受賞	0 1
2019年度第7回学長記者会見を実施	0 2
インド工科大学グワハティ校とマレーシア国民大学の学長が森脇学長を表敬訪問	0 3
岐阜ジョイント・ディグリー国際シンポジウム 2019 を開催	0 4
大学院連合農学研究科「The 7th UGSAS-GU Roundtable & Symposium 2019」を開催	0 5
令和元年度 東海・北陸ブロック COC+推進コーディネーター会議を開催	0 7
産官学連携人材育成・定着プロジェクト「企業実習」のバス出発式を開催	0 8
リトアニア共和国大統領来日特別記念講演及び名誉博士号授与式を開催	0 9
シンポジウム「専門職養成学部における発達障害のある学生の支援を考える」を開催	1 0
ランポン大学医学部御一行が本学医学部を訪問	1 1
2019年度愛岐留学生就職支援コンソーシアム岐阜地区ワークショップを開催	1 3
表彰受賞者	1 4
産官学連携の実施状況	1 5
メディア掲載一覧	1 7
諸会議	2 2
主要日誌	2 4
人事異動（学内限定）	2 6

岐阜大学生チームが「愛知県大学対抗ハッカソン “Hack Aichi”」で 最優秀賞の愛知県知事賞を受賞

9月7日（土）、14日（土）、15日（日）にデンソー名古屋オフィスで行われた「愛知県大学対抗ハッカソン “Hack Aichi”（愛知県主催）」に出場した本学学生チームが最優秀賞の愛知県知事賞を受賞した。

ハッカソンとはソフトウェアのエンジニアリングを指す「ハック」と「マラソン」を組み合わせた造語で、ITを活用して新たなサービスや製品等の開発を競い合うイベントである。本イベントは、全国の大学の学生を対象とし、今回が初開催となる。

本学学生チームはハッカソンにおいて、台風などで鉄塔が倒壊する前に鉄塔の劣化を検知する方法について提案し、検知のための機器を実際に作成した。これは鉄塔だけでなく、他の建造物等にも応用できるものである。

10月2日（水）には、今回の成果について、学生チーム及び指導教員による森脇学長への報告会が行われた。

グランプリに出場した学生は、「普段の研究とは違い、ものづくりだけでなくマーケティングなども考えないといけないことが難しかった。チームとして成し遂げられたことが大きい」と報告し、森脇学長は、「今回学んだことやチャレンジすることを後輩たちに教えてほしい」と称えた。



受賞報告の様子



集合写真



ハッカソンで開発した機器

2019年度第7回学長記者会見を実施

本学は、10月3日（木）に2019年度第7回学長記者会見を実施した。

今回の会見では、森脇学長から「大学院医学系研究科医療者教育学専攻（修士課程）の設置について」について、「岐阜大学の将来ビジョン」と関連させて説明を行い、次いで藤崎医学教育開発研究センター長から大学院医学系研究科医療者教育学専攻（修士課程）の設置背景や特色を説明した。

医学教育学とは医師・歯科医師、薬剤師、看護師ら医療従事者が医療系学生・若手医療者に対する教育のあり方やスキルを研究する学問である。海外では欧米を中心に128校もの専門修士課程があるが、これまで国内で学べる課程はない。

本学では2001年から医学教育開発研究センター（MEDC）を立ち上げ、全国の教員・指導医に対し、教育に関する学識・スキルを高める取組みを進めてきた。その医療者教育に関する実績が、国内初となる医療者教育学専攻（修士課程）設置につながった。

本専攻は中堅の医師・歯科医師、薬剤師、看護師、理学作業療法士等、指導する立場にある者の入学を想定しており、修了後は多様な医療者教育部門のリーダーとして活躍することを期待している。

今後、本学は医療者教育分野をリードし、全国の医療系の指導者のレベルアップを推進していく。



説明する森脇学長



医療者教育学専攻を説明する様子（左から西城准教授、鈴木教授、藤崎医学教育開発研究センター長、岩間大学院医学系研究科長・医学部長）

インド工科大学グワハティ校とマレーシア国民大学の学長が森脇学長を表敬訪問

10月7日(月)、インド工科大学グワハティ校（以下 IITG）のティー・ジー・シタラム学長とマレーシア国民大学（以下 UKM）のムハマド・ハムディ・アブドゥール・シュコール学長、そしてインド工科大学カンプール校教授であり IITG 前学長のゴータム・ビスワス教授の3名が森脇学長を表敬訪問した。

この訪問では、10月7、8日に行われる岐阜ジョイント・ディグリー（以下 JD）国際シンポジウム 2019 開催を前に、本年4月より各大学で開始された JD プログラムの現状報告と今後の推進について確認された。

表敬訪問後、3名は JD 専攻の調整担当である4名の教員の案内で学内を視察し、岐阜大学図書館で開催されている国際広報展を訪れ、四季折々の岐阜大学キャンパスの写真に見入っていた。



学長表敬

（前列左から 鈴木グローバル推進機構長、IITG 学長、森脇学長、UKM 学長、ビスワス教授）

（後列左から リム工学部教授、柳瀬応用生物科学部准教授、海老原応用生物科学部教授、久米工学部教授、野々村国際企画調整役）



集合写真（国際広報展にて）

岐阜ジョイント・ディグリー国際シンポジウム 2019 を開催

岐阜大学グローバル推進機構は、10月7日（月）、8日（火）の2日間、長良川国際会議場において「岐阜ジョイント・ディグリー国際シンポジウム 2019」を開催した。

ジョイント・ディグリー（以下 JD）とは、連携する大学間で共同の教育プログラムを行い、単一の学位を授与するものである。本学は、本年度4月に大学間学術交流協定校であるインド工科大学グワハティ校（以下 IITG）とマレーシア国民大学（以下 UKM）との間に新しく4つの国際連携専攻を開設した。

本シンポジウムは、JD プログラムの始動を契機に開催され、国内外の大学関係者や公的機関、自治体や地元企業の役員ら約220名の参加があった。

初日には、ジョイント・ディグリー開設記念式典が行われ、本学学長から「JD の卒業生が近い将来、地域の持続可能な開発に貢献することを祈念する」との挨拶があった。続いて、IITG ティー・ジー・シタラム学長、UKM ムハマド・ハムディ・アブドゥール・シュコール学長がそれぞれ祝辞を述べ、記念品の交換が行われた。

その後、IITG ビスワス前学長とインド政府北東インド評議会シュリ・ラムガンニング・ムイバ長官に記念品が贈呈され、北東インド地域商工会からのビデオメッセージが紹介された。

引き続いて、文部科学省高等教育局佐藤邦明国際企画室長の基調講演「国際連携教育に期待するもの」の他、3件の講演が行われた。

また、現在本学、IITG、UKM で学ぶ JD 1 期生 18 名からのビデオメッセージも紹介され、盛況の中、本シンポジウム実行委員長であるグローバル推進機構鈴木文昭機構長（本学理事(国際・広報担当)・副学長）の閉会の辞によって式典が閉じられた。

第2日は、「持続的発展のための岐阜国際シンポジウム」と題したアカデミックシンポジウムおよび「SDGs の達成に向けた大学・企業国際連携による社会貢献 ～インド及びマレーシアで食品及び関連産業におけるイノベーションを興す～」と題した日印馬 産官学パネルディスカッションが開催された。

パネルディスカッションでは、グローバル推進機構三輪真一特任教授をモデレーターに、産官学の各機関から関係者14名を招き、各々の視点から「国際連携教育」とお互いの機関への期待についてプレゼンテーションが行われた。

それぞれの講演やプレゼンテーション後の質疑応答では、国内外の参加者から JD の国際貢献に対する将来性や資金援助など、様々な視点からの活発な意見や質問があり、JD への関心の高さが窺えるシンポジウムとなった。



基調講演を行う佐藤邦明国際企画室長



アカデミックシンポジウムの様子

大学院連合農学研究科「The 7th UGSAS-GU Roundtable & Symposium 2019」を開催

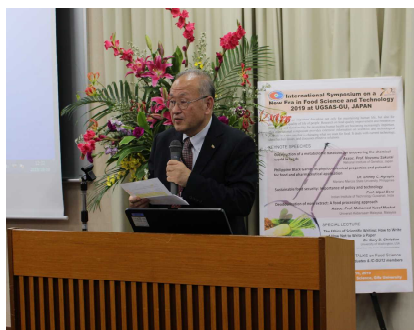
大学院連合農学研究科（博士課程）は、10月8日（火）に南部アジア農学系博士課程教育連携コンソーシアム加盟校（日本を含む南部アジア地域9カ国20大学）（以下、IC-GU12という）による「The 7th UGSAS-GU Roundtable」（第7回農学系博士教育国際連携円卓会議）（以下、ラウンドテーブルという）、翌9日（水）・10日（木）に海外のアカデミアで活躍する本研究科修了生の若手研究者を中心とした生物・農学系シンポジウム「The 7th UGSAS-GU International Symposium on a New Era in Food Science and Technology 2019」（以下、シンポジウムという）を本学連合大学院棟において開催した。

8日（火）のラウンドテーブルでは、加盟校のうち7大学のリエゾン教員等20名の出席のもと、「ダブル PhD ディグリープログラム」の進捗状況と課題、海外の加盟校に設置している本研究科との「共同実験室」の現状報告と今後の計画についての総合討論が行われた。



ラウンドテーブルの様子

9日（水）、10日（木）のシンポジウムでは、本学連合大学院棟において、2日間延べ147名の参加のもと、我々が食品に求めるものが変化していく中で新時代における科学技術の進歩をテーマに国内外の研究者4名の基調講演及び研究者16名の研究発表が行われ、より深い研究討論を行った。



鈴木副学長・理事（国際・広報担当）の挨拶 櫻井講師（国立遺伝学研究所）の基調講演



シンポジウム参加者集合写真

10日（木）の午後から本学の流域水環境リーダー育成プログラム及び今年度から本研究科と共同専攻を開始したインド工科大学グワハティ校と共催にて、参加者51名のもと、学生34名によるポスターセッションが行われ、優秀発表学生7名にポスター賞が授与された。



ポスターセッション発表者集合写真

今回は本学70周年記念イベントの一環として、本学グローバル推進機構主催の「岐阜ジョイント・ディグリー国際シンポジウム2019」を7日（月）・8日（火）に開催、工学部主催の「The 4th International Joint Meeting of Advanced Global Program in Conjunction」を本研究科と連動して同日程にて開催し、ワシントン大学のゲーリーD.クリスチャン教授による特別講演が行われた。



ゲーリーD.クリスチャン教授（ワシントン大学）による特別講演

令和元年度 東海・北陸ブロック COC+推進コーディネーター会議を開催

令和元年 10 月 11 日、岐阜大学が幹事校となっている東海・北陸ブロック COC+推進コーディネーター会議を岐阜大学にて開催した。これは平成 29 年 3 月に高知大学主催で実施された「全国 COC+推進コーディネーター会議」におけるブロック会議開催の決定を受けて平成 29 年度から実施しているものであり、東海・北陸ブロックに該当する 7 つの COC+事業採択校（富山大学・金沢大学・福井大学・信州大学・岐阜大学・静岡大学・三重大学）のうち富山大学を除く 6 校と、参加校である沼津工業高等専門学校・日本福祉大学・名古屋学院大学の 3 校が参加した。

本会議は COC+事業における各地域の課題をより掘り下げて解決につなげていくことを目的とし、第 3 回となる今回は各校の COC+事業の取組みの進捗状況について情報共有を行い、今回の会議の内容が来年 3 月開催予定の全国 COC+推進コーディネーター会議で報告されること、また、次年度については、後継事業の採択状況を踏まえて、改めて来年の秋口に本ブロック会議の在り方を検討することを確認した。



挨拶をする成原統括事業推進コーディネーター



挨拶をする佐々木岐阜大学副センター長



会議の様子



挨拶をする益川岐阜大学地域協学センター長

産学金官連携人材育成・定着プロジェクト「企業実習」のバス出発式を開催

10月17日（木）、柳戸会館前ロータリーにおいて、産学金官連携人材育成・定着プロジェクト「企業実習」のバス出発式を行った。

これは、企業に学生を派遣して生産現場での長期実習を通して実践的な経験を積む工学部の授業科目「機械工学創造演習」の企業実習に先立って行われたものである。

本事業は、岐阜県の「産学金官連携人材育成・定着プログラム」の一環で、県内企業の魅力を伝え地元企業への定着を図る取り組みとしても注目されており、企業実習には本学工学部機械工学科3年生の学生140名が参加する。

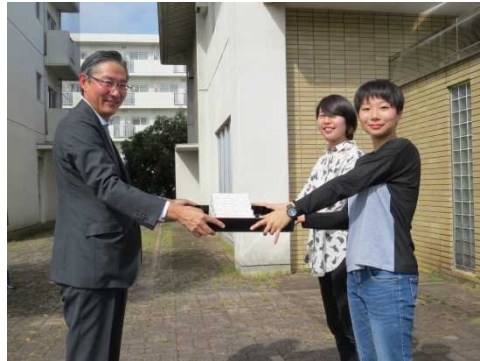
出発式では、県内15企業を代表して（株）ナベヤの岡本 知彦代表取締役社長から「岐阜にはキラリと光る企業がたくさんある。大企業と異なる特徴を感じとり、企業の若手・幹部と触れあい、実学を学んで欲しい」と激励のメッセージがあった。

代表学生の水野 恭平さん（工学部機械工学科3年）は「今回の演習で進路選択、就職活動、社会人になってから役立つ経験ができる機会に感謝し、精一杯取り組みたい」と抱負を述べた。

現地実習は約半年間行われ、1月には、成果発表会を計画している。



出発式の様子



（株）ナベヤの岡本 知彦代表取締役社長から記念品贈呈

リトアニア共和国大統領来日特別記念講演及び名誉博士号授与式を開催

10月24日（木）、本学講堂において、ギターナス・ナウセーダ リトアニア共和国大統領（以下、大統領という）が特別に来学され、特別記念講演及び名誉博士号授与式を開催した。

大統領は「即位礼正殿の儀」への出席のため来日され、24日（木）にはリトアニア共和国と交友関係の深い岐阜県に来岐されたことから、本学にて特別記念講演が実施された。

大統領は学生・教職員約400人を前に、”Lithuania and Japan: The way forward”をテーマにして、リトアニアと日本の交流の歴史、文化、経済、今後の関係について講演された。講演の最後には大統領から「今後もさらなる交流を深めていき、一度築いた関係が決して途絶えることがないように祈っています」と述べられた。

また、本学は様々な事業を通してリトアニア共和国との交流を活発に進めており、その中で大統領自ら講義されたことは本学の教育研究及び国際交流の推進に大きく寄与し、今後、本学とリトアニア共和国との関係強化を期待して、大統領に名誉博士号を授与した。

今後、本学は現在学術交流協定を交わしているリトアニア共和国のカウナス工科大学、ヴィータウタス・マグナス大学とのさらなる連携を推進し、岐阜県と協力してリトアニア共和国との交流を一層深める。



ギターナス・ナウセーダ リトアニア共和国大統領による講演の様子（左上）

名誉博士号授与の様子（右上）

集合写真（左下）

シンポジウム「専門職養成学部における発達障害のある学生の支援を考える」を開催

10月27日（日）、堀田亮保健管理センター助教、川上ちひろ医学教育開発研究センター併任講師、高口遼太郎障害学生支援室特任助教は、岐阜大学創立70周年記念事業の一環としてシンポジウム「専門職養成学部における発達障害のある学生の支援を考える」を開催した。

発達障害学生支援に関するシンポジウムは、2017年度から開催しており、これまでは大学と地域の連携体制の構築に焦点を当ててきた。3回目となる今回は、医療系や教育系といった専門職養成学部における発達障害学生支援をテーマに内容を企画した。

当日は大学教職員のみならず、教育、行政、福祉関係者など、62名もの参加があった。

冒頭に小越真一朗独立行政法人日本学生支援機構 学生生活部 障害学生支援課長から機構としての発達障害学生支援に関する取り組みや今後の展望が紹介された。

シンポジウムは二部構成となっており、第一部は、船越高樹京都大学学生総合支援センター障害学生支援ルーム高等教育アクセシビリティプラットフォーム特定准教授、松村齋大垣女子短期大学 幼児教育学科長・教授、稲葉政徳岐阜保健大学短期大学部 リハビリテーション学科講師が「入学から実習前の支援」をテーマに発表を行った。

第二部は、船越特定准教授、川上併任講師、安田和夫岐阜聖徳学園大学 学生支援センター・教育学部 特別支援教育専修センター長・教授、稲葉政徳講師が「実習の支援」をテーマに発表を行った。

第一部、第二部の各発表後には、4～6名の小グループでグループディスカッションを行い、専門職養成学部における発達障害学生支援の課題の共有、情報交換を行った。発表者に対する質問も多く出て、活発な議論が交わされた。

障害者差別解消の施行に伴い、障害学生支援に関する取り組みは各地で広がりを見せている。しかし、「専門職養成学部」に焦点を絞った本会のような取り組みは全国的にも先駆けと言えるものである。本学は今後もこのような活動を継続、発展させていく。



シンポジウムの様子

ランポン大学医学部御一行が本学医学部を訪問

10月28日（月）～29日（火）に、大学間学術交流協定大学であるインドネシアのランポン大学から、チップタ・ギンティン グ 理事(共同開発・国際担当)、デア・ウラン・スメカー 医学部長、フィトリア・サフタリナ・マユディン 副学部長（連携学事担当）、ジョン・ファトリア 副学部長（総務・財務担当）が医学部を来訪された。この来訪は、同大学と本学の連絡調整者である応用生物科学部の千家 教授を介して実現したものである。

ランポン大学医学部は、2011年に設置された新しい学部で、現在学士課程として、基礎系医学、臨床系医学、薬学の3つのプログラム、そして修士課程として公衆衛生学を擁しており、2025年までにインドネシアにおける農医連携（Agromedicine）に特化した医学部として国内10位以内になることをビジョンとして掲げている。今回の訪問の目的は、本学を含む日本の医学教育の情報収集や、将来の本学部との交流の可能性についての議論を交わすということで、岩間 医学部長、吉田 病院長、鈴木 教授（医学教育開発研究センター）及び長岡 教授（分子病態学分野）と活発に意見交換を行った。

次に、鈴木 教授と森田 教授（医師育成推進センター長）による日本の医療の現状、本学の医学教育カリキュラムや研修医の卒後教育等の詳細について説明があった。その後、同教授らの案内で、医師育成推進センター、附属病院総合診療科外来、スキルスラボ、テュートリアル室等を見学した。また、翌29日（火）には、医学部附属病院事務の案内で、附属病院の免震構造やドクターヘリ等の設備の見学を行った。

今回の訪問により、今後のランポン大学と本学のより緊密な交流が図られることが期待される。



前列左から：ロザキさん（引率者）、ジョン・ファトリア副学部長、チップタ・ギンティン グ理事、デア・ウラン・スメカー学部長、フィトリア・サフタリナ・マユディン副学部長
後列左から：長岡 教授、吉田 病院長、岩間 学部長、森田 教授、鈴木 教授



ドクターヘリ見学の様子

2019 年度愛岐留学生就職支援コンソーシアム岐阜地区ワークショップを開催

10 月 30 日（水）、岐阜大学サテライトキャンパスにて 2019 年度愛岐留学生就職支援コンソーシアム岐阜地区ワークショップを開催した。

このコンソーシアムは文部科学省委託事業「留学生就職促進プログラム」の事業目的に賛同した愛知及び岐阜県下の大学、地方公共団体、経済団体及び企業支援団体が連携し、留学生の国内就職支援事業を目的に、平成 29 年 9 月に発足した。

同コンソーシアムに参画している岐阜県内 4 機関（本学、岐阜県、岐阜県経営者協会、日本貿易振興機構（ジェトロ）岐阜貿易情報センター）の共催により、留学生が地元企業に就職するにあたっての課題や支援を考える同ワークショップを開催したところ、企業、留学生、教育機関、企業関係者等あわせて 85 名が参加した。

第一部講演会では、岐阜県内 4 機関の代表として鈴木 文昭 理事（国際・広報担当）・副学長からの開会挨拶の後、日本貿易振興機構（ジェトロ）高度外国人活躍推進コーディネーター 脇村 美緒氏からグローバル人材の活躍事例、高度外国人材活躍プラットフォーム等についての講演があった。

次に、一丸ファルコス株式会社執行役員 開発部長兼国際部長 農学博士 アルナシリ イダマルゴダ 氏及び株式会社安部日鋼工業 岐阜本社 技術工務本部 技術開発部次長 博士（工学）辛 軍青 氏から、岐阜県内企業における高度外国人材活躍事例の紹介があった。

第二部では、参加企業がブースを構え、留学生が自由に訪問・懇談するネットワーキングを実施した後に、軽食をとりながら留学生と企業が交流する立食形式懇談会を実施した。

参加した企業からは、「あまり関わりのない国の留学生の考えに触れる事ができました。」「実際に日本で働かれている高度外国人材の方のお話が参考になりました。」、などの意見が寄せられ、留学生からは、「インターンシップを考えており、どのような企業があるか探したが、私とぴったりの企業があり、その企業の人と様々なお話しができました。とても勉強になる時間でした。」「参加できて、大変良かったです。色々なことを聞き、役に立ったと思います。今後も活かしていけたらいいなと思っています。」など大変有意義な時間を過ごした旨の感想があった。企業、留学生ともに今後の展開への期待が高まるワークショップとなった。



講演する JETRO 名古屋 高度外国人材活躍推進コーディネーター 脇村 美緒 氏



講演する一丸ファルコス株式会社 アルナシリ イダマルゴダ 氏



講演する株式会社安部日鋼工業 辛 軍青 氏

表彰受賞者

西濃地区社会教育委員連絡協議会表彰 受賞

受賞者：益川 浩一 地域協学センター教授

業績名：西濃地区社会教育委員連絡協議会表彰

受賞日：令和元年10月29日

産官学連携の実施状況

○共同研究

(令和元年10月契約分)

部局名	研究代表者	企業等名
大学院医学系研究科	安藤 弘樹	KM バイオロジクス(株)
医学部附属病院	小関 道夫	マルホ(株)
工学部	志賀 元紀	トヨタ自動車(株)
応用生物科学部	西津 貴久	ノボザイムズジャパン(株)
工学部	河瀬 順洋	パナソニック(株)
工学部	松下 光次郎	(株)東海スプリング製作所
地域協学センター	益川 浩一	羽島市
大学院医学系研究科	手塚 建一	(合)4 DPocket
大学院医学系研究科	手塚 建一	テックビューロホールディングス(株)
工学部	高井 千加	(公財)科学技術交流財団
大学院医学系研究科	松尾 政之	富士電機(株)
科学研究基盤センター	鎌足 雄司	国立研究開発法人理化学研究所
工学部	六郷 恵哲	(株)ユニオン
大学院医学系研究科	秋山 治彦	(株)タナック
工学部	仲井 朝美	ダイキョーニシカワ(株)
工学部	武野 明義	三和興産(株)
工学部	小林 信介	玄々化学工業(株)
工学部	神原 信志	澤藤電機(株)
工学部	木下 幸治	(株)興栄コンサルタント
大学院医学系研究科	松本 和	日本特殊陶業(株)

○受託研究

(令和元年10月契約分)

部局名	研究代表者	企業等名
流域圏科学研究センター	原田守啓	国土交通省中部地方整備局
応用生物科学部	山田邦夫	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構
医学部附属病院	村上啓雄	岐阜県
大学院医学系研究科	青木光広	学校法人聖マリアンナ医科大学
工学部	吉田佳典	国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構
医学部看護学科	小林和成	岐阜県後期高齢者医療広域連合
大学院医学系研究科	青木隆明	(株)東海技研工業
医学部附属病院	岡 有希	栄研化学(株)
大学院医学系研究科	森田啓之	国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構

大学院医学系研究科	森田啓之	国立大学法人筑波大学
大学院医学系研究科	山本哲也	国立大学法人筑波大学
医学部附属病院	浅田隆太	学校法人聖マリアンナ医科大学
工学部	三輪洋平	国立研究開発法人科学技術振興機構

メディア掲載一覧

○新聞

(令和元年10月分)

掲載日	新聞名	内容
10月1日	朝日	国立大初 来春に「東海国立大学機構」 名大・岐阜大運営統合に 活路 機構長候補に松尾・名大総長「世界屈指の研究と地域貢献、 同時に」 ～森脇久隆 学長～
10月1日	岐阜	県公安委員会 林氏再任決定 ～林 正子 副学長～
10月1日	岐阜	10月は「乳がん月間」 まずは検診を！ 早期発見・早期受診・早 期治療で命を守る ～医学部腫瘍外科学講座 二村 学 臨床教授 ～
10月2日	岐阜	田舎暮らしのすすめ 県内自治体 若者向け移住施策充実 ～教育 学部 大藪千穂 教授～
10月2日	岐阜	家畜をテーマ 26日講座開講 ～公開講座「食べられる生命―肉と 卵と牛乳の科学と実際―」～
10月2日	中日	データ分析専門家育成 産官学連携 法人統合の目玉に
10月3日	岐阜	◎みのひだ：VR 技術，福祉に活用 ～工学部機械工学科4年 笹 竹佑太さん～
10月3日	中日	岐阜大チーム愛知県知事賞 大学対抗ハッカソン IT 関連サービ スや製品考案 ～工学部機械工学科4年 笹竹佑太さん，北野郁弥 さん，津田裕貴さん，前野大輝さん～
10月3日	中日	がん治療薬副作用 各分野で情報共有 岐阜大病院で報告会 ～医 学部附属病院ワーキンググループ座長 清島真理子 教授～
10月4日	中日	「医療者教育学専攻」 岐阜大院が来春新設 国内初の分野 ～森 脇久隆 学長，医学教育開発研究センター 藤崎和彦 センター長 ～
10月4日	読売	医療者教育 修士課程開設 岐阜大 20 年度に 国内初 従事者向 け ～森脇久隆 学長，医学教育開発研究センター 藤崎和彦 セ ンター長～
10月4日	朝日	医療者教育の人材育成へ 岐大が来年度 国内初の修士課程 ～森 脇久隆 学長，医学教育開発研究センター 藤崎和彦 センター長 ～
10月4日	読売	光秀にマイケル富岡さん 信長まつり配役決まる ～お市役 医学 部 山口莉穂さん～
10月4日	岐阜	医療の教育者 岐阜大で育成 国内初，専攻課程設置へ 若手指導 法，働きながら学ぶ ～森脇久隆 学長，医学教育開発研究センタ ー 藤崎和彦 センター長，～

10月4日	読売	地域課題 解決策を提案 岐阜大工学部生 岐阜市長に 「空き家」「公共交通」「防災」 ～工学部社会基盤工学科3年生18人～
10月4日	中日	岐阜市の課題 解決策を提案 ～工学部社会基盤工学科3年生18人～
10月6日	中日	岐阜大生らがみとラジ放送 美殿町秋祭 ～「学生放送研究会ラジスタ」部長 2年 丸山哲矢さん～
10月7日	岐阜	大学再編の波広がる 進む少子化, 経営に危機感 岐阜大と名大 来春経営統合「研究機能を強化」
10月7日	岐阜	◎いま学校で: 社会で生きていく力を 「非認知能力」の育成が重要に ～教育学部附属小中学校長・教育学部 須本良夫 教授～
10月8日	中日	「国際連携教育期待」 文科省佐藤さん講演 岐阜 JD シンポ
10月8日	岐阜	岐阜大, 国際連携を確認 インド, マレーシアの研究者とシンポ 「持続可能な開発貢献」
10月8日	中日	ベンチャー3社初認定 岐阜大初の起業活動支援～工学部 久武信太郎 准教授, 工学研究科博士後期課程2年 朝日翔太さん, 医学系研究科 松尾政之 教授～
10月8日	岐阜	近野岐阜大助教 あすりサイタル マーラー歌曲披露 ～教育学部 音楽教育講座 近野賢一 助教～
10月8日	岐阜	詩と作文 287 点入賞 児童夏休みコンクール ～教育学部附属小学校3年 山中あお葉さん～
10月8日	岐阜	サイバー犯罪対策アドバイザー委嘱 県警 4人再任 ～村瀬康一郎 教授～
10月9日	読売	海外大と共同学位 研究の国際協力期待 岐阜大シンポ「学生の活躍応援」
10月9日	岐阜	長良川おんぱく 2019: 宝物発見リポート 有識者とまちあるき 河原町の変遷たどる ～地域科学部 富樫幸一 学部長～
10月10日	中部経済	中経論壇: キャッシュレス決済のポイント還元 不公平なくす仕組みづくりを ～教育学部 大藪千穂 教授～
10月10日	読売	岐阜市教育施策 見直しへ いじめ問題受け 検討会議初会合 ～工学部 (インフラ政策) 加藤義人 客員教授～
10月10日	中日	世代超えた議論で模擬選挙 岐阜大付属小児童や住民ら ～教育学部 田中 伸 准教授～
10月11日	中日	スタートアップ from 中部: 起動 カギは「大学発」 松尾清一・名古屋大学長に聞く
10月11日	中部経済	アピが岐阜大に給付型の奨学金

10月12日	岐阜	インドと観光連携を 政府機関長官，県庁訪問
10月12日	岐阜	イノシシ感染 猛威続く 県内計 1000 頭，動態把握に苦戦 ～ 応用生物科学部 鈴木正嗣 教授～
10月13日	岐阜	野生動物，管理手法探る 岐阜大創立 70 周年でシンポ
10月13日	岐阜	新たながん抑止へ 生活の見直し訴え 乳がん団体，名古屋で講演 ～医学部附属病院乳腺外科科長 二村 学 医師～
10月16日	朝日	ストレスを子に発散，第三者の支援を 増える虐待 吉沢寛之・岐 阜大准教授に聞く ～吉沢寛之 准教授～
10月17日	中部経済	広がる大学統合，活路を模索 岐阜大，名古屋大が第1号 来春誕 生 新たな類型めざす ～森脇久隆 学長～
10月17日	読売	読売記事で昔振り返る 「回想サロン」90人参加 ～岐阜大サテラ イトキャンパス～
10月17日	読売	リトアニア大統領 24 日来県 現役国家元首は県史上初
10月17日	岐阜	リトアニア大統領 24 日来岐 千畝氏の郷里，八百津で記念館視察
10月17日	毎日	リトアニア大統領 千畝ゆかりの地へ
10月18日	岐阜	◎つたえたい：北野郁弥さん（工学部機械工学科4年）
10月18日	岐阜	プログラミング挑戦 笠松町 親子ら初歩操作学ぶ ～尾崎浩巳 名誉教授～
10月18日	朝日	リトアニアの大統領来県へ 千畝記念館見学など
10月18日	読売	岐阜市中3自殺 いじめ認識なし 聞き取りで全教員 ～橋本 治 教授～
10月19日	岐阜	岐阜大付属小で主権者教育授業 児童，多様な考え吸収 "リーダー 選挙"大人と議論
10月19日	岐阜	製造の現場で課題解決 岐阜大生，実習へ出発式
10月19日	朝日	初代機構長に名大・松尾総長
10月21日	中部経済	学生がビジネスプレゼン 岐阜県など，来月開催 ～第2回ぎふビ ジネスアイデア・プレゼンテーション～
10月21日	毎日	東海国立大機構 トップに松尾氏
10月22日	中日	病院の経営改革まとめた本出版 ～医学系研究科・医学部附属病院 前院長 小倉真治 教授～
10月22日	日本経済	機構長に名大・松尾学長 岐阜大と総合の新法人
10月22日	読売	東海国立大機構 トップに松尾氏 文科相指名
10月22日	中日	松尾学長を機構長に指名
10月22日	岐阜	新法人トップに松尾氏正式指名 岐阜大・名大
10月24日	岐阜	岐阜新聞・岐阜放送懇談会：共働きを続け支出減を テーマ「老後

		2千万円と生き残り術～不思議な岐阜人の家計事情～ ～教育学部 大藪千穂 教授～
10月24日	岐阜	学生講師，地域に一役 県内自治体の無料学習支援に派遣 県と岐阜大のセンターがつなぎ役
10月25日	朝日	リトアニア大統領 杉原千畝記念館視察
10月25日	中日	千畝は「両国の重要な絆」 岐阜大 リトアニア大統領が記念講演
10月25日	読売	リトアニア大統領 両国の友好発展願う 現職国家元首初来県 「命のビザ」原本閲覧
10月25日	毎日	リトアニア大統領 平和プレート除幕 「杉原の貢献 忘れず」
10月25日	岐阜	千畝氏が縁，一層交流 リトアニア大統領来岐 岐阜大で会見 文化や観光など多面的に
10月27日	岐阜	県内全施設で接種完了 豚コレラワクチン，4万頭
10月28日	岐阜	長良川，一層美しく 74団体 2200人が清掃 ～アメリカンフットボール部～
10月29日	中部経済	◎研究現場発：個性的な風味を醸す新奇清酒酵母の開発 清酒酵母の分子生物学 ～応用生物科学部応用生命科学課程 中川智行 教授～
10月29日	岐阜	濃尾地震 風化させぬ 発生128年，岐阜市で法要 ～流域圏科学研究センター 久世益充 准教授～
10月29日	岐阜	美濃柴犬3部門 毛並み，体格競う 岐阜市で展覧会
10月30日	日本経済	農学など4分野強化 名大と岐阜大，来年4月法人統合 直轄拠点設け，重点投資
10月30日	岐阜	「皮膚の日」で市民公開講座 3日，岐阜市 ～医学部附属病院皮膚科 水谷陽子 医師～
10月30日	朝日	東海の製造業 AIで支援 岐大院・朝日さん ベンチャー企業 大学発の認定制度第一号 ～朝日翔太さん～
10月30日	岐阜	「濃姫まつり」女性が主役に ライブやミスコン，岐阜市で23日～「第1回濃姫まつり」実行委員長 医学部5年 山口莉穂さん～
10月31日	読売	◎拝見！：岐阜大付属小 模擬投票「政策」を議論 ～教育学部 田中 伸 准教授～

○テレビ・ラジオ・雑誌等

(令和元年10月分)

放送日	番組名	内容
10月2日	CCN 「エリアトピックス」	シンポジウム「人口減少時代における新たな社会デザインの構築に向けて」の様子を紹介
10月7日	ぎふチャン 17:40～ 「お茶の間ステーション 2時6時」	『減災ラジオ』 「救急医療の究極の形 ドクターヘリ」 医学部附属病院 高次救命治療センター ドクターヘリ・ドクターカー部門 山田 法顕 部門長
10月10日	ぎふチャン 18:53～18:57 「ぎふ県政ほっとライン」	清流の国ぎふ防災リーダー養成講座の様子・参加者へのインタビュー・小山准教授へのインタビューなどを紹介 流域圏科学研究センター 小山真紀 准教授

◇第679回 役員会

10月10日（木）

（議事）

1. 令和2年度医学部医学科入学定員の増員について
2. 共同研究講座の設置について
3. 令和元年度教育職員関門評価（案）について

◇第6回 部局長・部長会

10月10日（木）

（協議事項）

1. 東海国立大学機構における第3期中期目標・中期計画について

◇第680回 役員会

10月10日（木）

（議事）

1. 令和元年度人事計画について

◇第7回教学委員会

10月15日（火）

（審議事項）

1. 令和2年度学年暦（案）について
2. 大学以外の教育施設等における学修の単位認定について
3. 日本語科目及び日本事情に関する科目の充当について
4. シラバス様式の改定について

◇第681回 役員会

10月17日（木）

（議事）

1. 令和2年度分教員人事について
2. 教育職員雇用申請について

◇第186回 教育研究評議会

10月17日（木）

（審議事項）

1. 経営／マネジメント教育部門設置構想について
2. 東海国立大学機構における第3期中期目標・中期計画について
3. 共同研究における費用負担の在り方と産学連携の持続的発展を実現する方策について

◇第5回 岐阜大学グローバル推進機構運営委員会

10月21日（月）

（審議事項）

1. 国際連携専攻の学生に係る授業料免除について
2. 岐阜大学国際交流会館入居者選考に関する申合せ及び国際交流会館A・B棟の入居者選考等の一部改正について
3. ユタ大学の連絡調整者（リエゾン）について

10月23日（水）

（審議事項）

1. 令和3年度教育学部一般入試選抜方法等の変更（案）について
2. 応用生物科学部推薦入学Ⅰ入学者選抜基準一部改正（案）について
3. 大学院地域科学研究科入学者選抜基準の一部改正（案）について
4. 学部、大学院におけるアドミッション・ポリシーの一部改正（案）について
5. 正解・解答例の開示一部改正（案）について
6. 正解・解答例〔出題意図（ねらい）を含む。〕の提出・保管・管理等に関する取り扱い一部改正（案）について
7. 令和3年度（2021年度）大学入学者選抜（案）について

◇第92回 経営協議会

10月29日（火）

（審議事項）

1. 東海国立大学機構における第3期中期目標・中期計画について

◇第682回 役員会

10月31日（木）

（議事）

1. 令和元年台風15号及び19号により被災した志願者に対する岐阜大学の特別措置（入学試験の検定料免除）（案）について

主要日誌

月 日	行 事 名
10/ 7	岐阜ジョイント・ディグリー国際シンポジウム2019
24	リトアニア共和国大統領ギターナス・ナウセーダ氏来日特別講演会
28	げんさい楽座